

自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI）
2021 年度「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募

自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI：Transmission Research Association for Mobility Innovation）は、産学連携による基盤研究を通じ、

1. 自動車用動力伝達（駆動系）技術に関する学のサイエンス進展
2. 駆動系分野における持続的な科学技術の発展
3. 産学交流を通じた人財育成

を図ることを目的に、技術研究組合法に基づき 2018 年 4 月 2 日に設立されました（<https://trami.or.jp>）。

TRAMI では、駆動系技術の革新を期待するとともに、大学高専等の高等教育機関における機械要素・動力伝達に関する教育・研究活動の充実を願い、下記の分野で研究を公募します。

1. 研究の対象	<p>動力伝達技術における</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械要素 例えば <ul style="list-style-type: none"> ・摩擦伝動、かみ合い伝動、高減速比あるいは高速回転における動的挙動 ・装置の残存寿命評価 ・締結要素技術 ・表面処理・改質・評価技術 ・高効率化技術 2. トライボロジー 例えば <ul style="list-style-type: none"> ・摺動面の潤滑技術（たとえば高速領域、極限領域） ・気泡を含むオイルによる潤滑挙動 ・潤滑のその場観察、測定技術 ・フレッティングのメカニズム 3. 音・振動 例えば <ul style="list-style-type: none"> ・静粛性向上のための振動・騒音低減技術 ・乗り心地改善・評価のための音・振動計測・予測技術 ・低騒音・低振動実現のための解析・設計技術
2. 応募者の資格	<p>応募者は博士の学位を有し、かつ教授、准教授、講師、助教および日本学術振興会特別研究員ならびにこれらに準ずる者であって、次の所属機関において常勤する研究者とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学（附置研究所を含む） 2. 高等専門学校 3. その他、TRAMI が認めた研究機関
3. 研究費	<p>1 件あたり 1 年間最大 150 万円とします（間接経費を含み、消費税は含みません）。</p>
4. 研究の期間	<p>2021 年 4 月 1 日～2023 年 3 月末までの 2 年間とします。1 年目の年度末の進捗確認により次年度の研究継続判断を行います。契約書及び、研究費の支給・支出実績報告は 1 年単位です。</p>
5. 申請書等の提出方法と提出期限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2021 年度「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募 応募申請書（WEB：https://trami.or.jp よりダウンロードしてください）

	<p>2. 最近約 5 ヶ年間に申請者が行った研究に関する公表物のうち、研究の特質を表す主要な論文や解説、前刷り、成果報告概要等（計 3 編以内）</p> <p>3. 1. の申請書および 2. の論文等を一続きの PDF ファイルとして e-mail にて sangaku-koubo@trami.or.jp 宛に送付してください。なお、e-mail アドレスのドメインは所属機関に限ります。</p> <p style="text-align: center;">2020 年 1 月 4 日（水） 正午（日本時間） 必着</p>
6. 審査	動力伝達分野における研究に対する意欲と研究の魅力、将来性、有用性および期待される成果の観点から審査します。
7. 選考	<p>1. 有識者による審査委員会が審査・選考し、2021 年 2 月末日までにその採否を申請者に通知します。</p> <p>2. 2021 年度分の採択数は 6 件程度を予定しています。</p>
8. 採択の伝達	1. 採択された申請に対して、研究テーマ採択伝達式を 2021 年 3 月上旬に行う予定です。旅費は TRAMI が負担します。
9. TRAMI から の技術支援	1. 採択された研究を遂行するため、実験装置の製作、研究結果に対する議論等について、必要に応じ TRAMI 研究委員会に協力を要請することができます。また、TRAMI が保有する機材、設備についても活用できる場合があります。
10. 報告	<p>1. 1 年目は 2022 年 3 月中旬に開催される TRAMI 産学連携研究を対象とした研究成果報告会における口頭発表（研究費支出実績概要を含む）を行い、次年度の研究継続判断とします。実績報告書（研究費支出実績を含む）は 2022 年 4 月末までに提出してください。</p> <p>2. 最終報告は 2023 年 3 月中旬に開催される TRAMI 産学連携研究を対象とした研究成果報告会における口頭発表（研究費支出実績概要を含む）を行い、2023 年 4 月末までに研究成果報告書を提出してください。形式は科学技術研究費（基盤研究）（科研費）報告書（研究費支出実績を含む）に準じます。研究成果の概要は TRAMI ホームページなどで公表されます。</p>
11. 申請書の 作成あたっての 注意事項	<p>1. 申請に当たっては、所定の形式の申請書を使用してください。科研費の申請に使用する研究者番号の記入が必要です。科研費の申請書により代用することもできます。この場合、研究分担者は除いてください。また、2021 年度「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募 応募申請書の 1 ページ目を表紙として付けてください。</p> <p>2. 論文博士の場合は学歴、博士の欄の「修了」を「取得」に変更し、大学名と取得年を記入してください。</p> <p>3. ホームページを開設されている申請者はホームページ URL 欄にご記入ください。</p> <p>4. 申請書の内容は外部に公開しませんが、研究題名・申請者名は研究テーマ採択時に公表することがあります。知的財産権等に関わって、申請用研究題名を公表できない場合、申請用の研究題名の他に、公表用の研究題名を申請書の特記事項に記載してください。</p> <p>5. 申請書の各項目の文章はフォント明朝 10.5pt を用い、簡潔・明瞭な図表も含め、各ページの枠内に記述してください。その際、上下左右マージン、行間にも留意願います。</p>

12. その他	<ol style="list-style-type: none">1. 研究費の支給（研究計画書の請求額）に当たって、TRAMIと研究者の所属機関との間で単年度ごとに、原則としてTRAMIが提示する研究契約書を基に契約を締結して頂きます。1年目の年度末の進捗確認により研究継続判断をさせて頂き、2年目の契約を行います。2. 本研究費を受けた研究を学会等で発表する際には、TRAMIとの委託研究または共同研究に基づく成果であることを明示してください。3. 本事業によりなされた研究に基づき得られた知的財産権は、研究者の所属する機関の取り決めに従い、取得してください。その場合は申請したことをTRAMIに連絡してください。4. 応募に当たって、個人情報 は TRAMI 個人情報取扱規程に基づき、その保護に努めます。また、提出書類は返却されません。予めご承知おきください。5. 不明な点があれば、TRAMI WEB よりお問い合わせください。 自動車用動力伝達技術研究組合（https://trami.or.jp） 〒105-0022 東京都港区海岸 1 丁目 9-11 マリンクスタワー8F
----------------	---